

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 059	提案機関名 鎌倉漁業協同組合
要望問題名 磯焼対策（効率的なウニ駆除とモニタリング）と養殖ワカメの食害対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 同漁協地先海域は、10年前、2011年以降、磯焼の進行が著しく、素潜り漁やみづき、刺網漁等で主対象となるサザエ、アワビ等の漁獲量が軒並み落ち込んでいる。サザエ、アワビは当漁協に所属するほとんどの漁業者が対象としており、漁獲量の落ち込みはそのまま減収（年間収入の3~5割）に直結して、漁業経営を圧迫している。 このため、磯焼対策が急務で、まずはウニ類の除去が必須であり、当組合でも漁業者のみづきや素潜りによるウニ駆除が実施されている。しかし、岩の割れ目や横穴に多く分布するウニ類は駆除しきれっていないのが実状である。そこで、モニタリングも兼ねてスキューバ潜水等による、より効率的なウニ駆除を実施し、磯焼解消モデルを構築して欲しい。 また漁閑期の冬場は、当漁協組合員の内30軒がワカメ養殖を営んでおり、仮沖出し前の陸上の水槽内のワカメ種苗の育成については、普及指導員の検鏡指導を受けている。 しかし、9月の仮沖出しや11月の種挿し後の養殖海面でのアイゴ等による食害が酷く、養殖漁家のワカメ生産量は軒並み半減し、壊滅的なダメージを受けている漁家も多い。 そこで、①アイゴ水槽飼育実験等でアイゴを寄せ付けない超音波や微弱電流や電波発信機等の開発や、効果的な②アイゴの食害防止ネットの開発と設置方法についても試験研究して下さい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 本要望書が試験・研究要望書であることは心得ておりますが、磯焼の進行は著しく、スキューバ潜水によるウニ潰し等、即効性のある対策が求められます。その前後のモニタリング調査と絡めて、取組みをお願いいたします。また、冬場のワカメ養殖は、三浦半島地区の漁業者の多くが営み、魚閑期の重要な収入源となっております。	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部、企画指導部
対応区分	① 実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験			
対応の内容等 相模湾での藻場再生と磯根資源の回復は当所としても緊急性の高い課題と受け止めており、研究担当と普及担当にて重点的に取り組んでいます。 ウニ密度の増大により磯焼けとなった場合、藻場の再生にはウニの密度を十分の一以下に減らす必要があるとされています。スキューバ潜水によるウニ除去は、非常に効果的であると判明しています。漁業者が行うウニ除去とモニタリングについて今後も普及担当を通じて助言を行います。 アイゴ等の食害の実態把握と対策について、他府県での取組みも参考にしながら取組んでまいります。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			